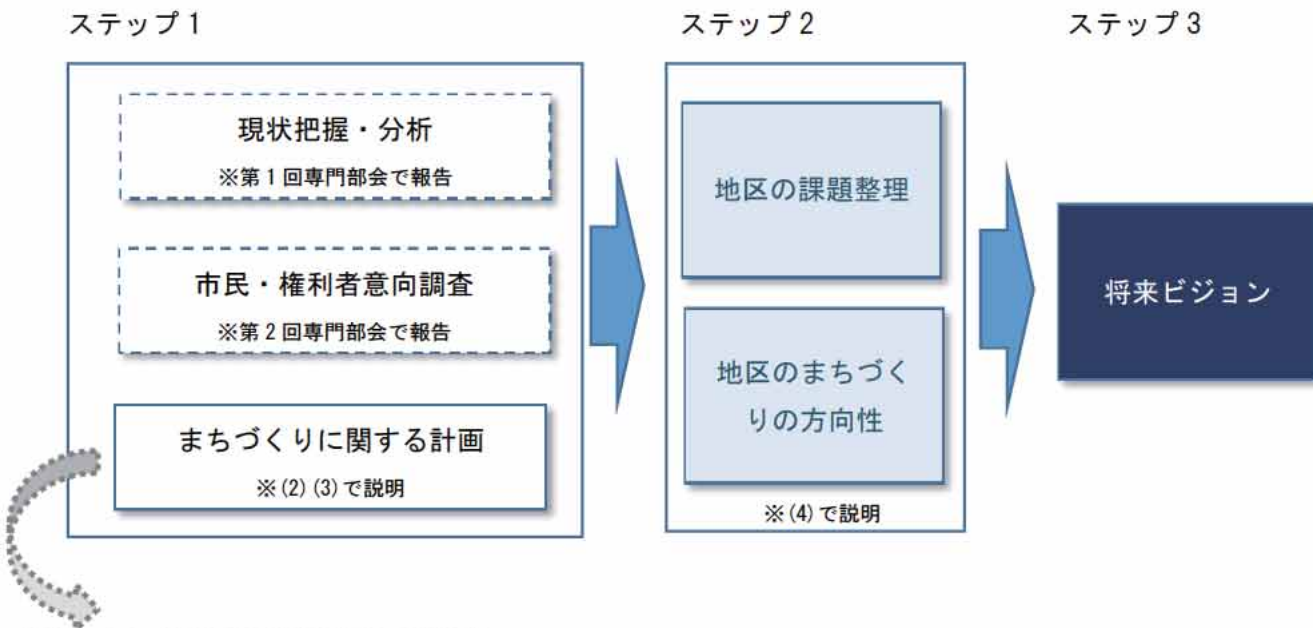


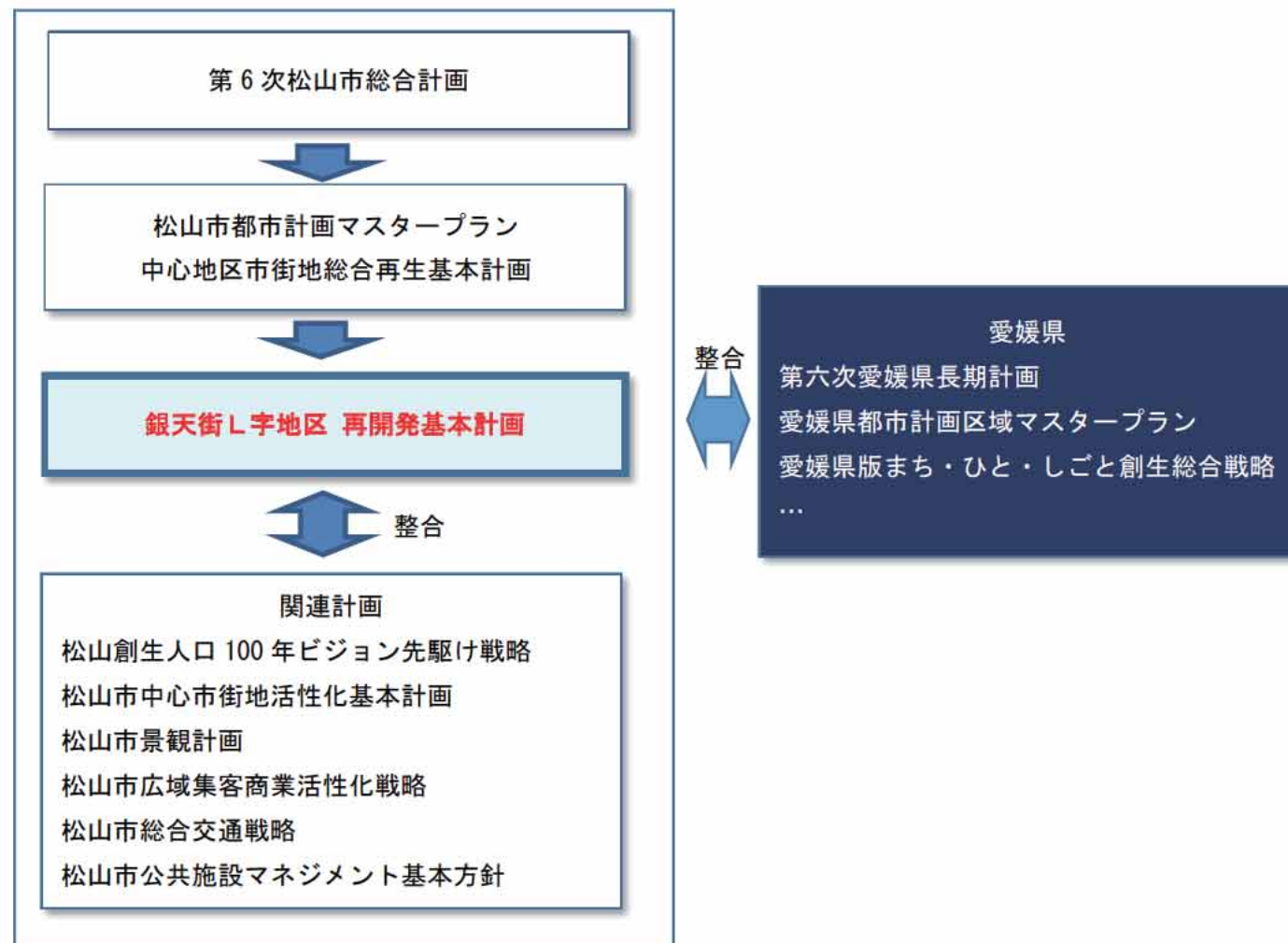
## II 地区の将来ビジョン（案）

### （1）検討の流れ



### （2）まちづくりに関する計画との関連性

まちづくりに関する市の上位計画・関連計画と整合を図ります。



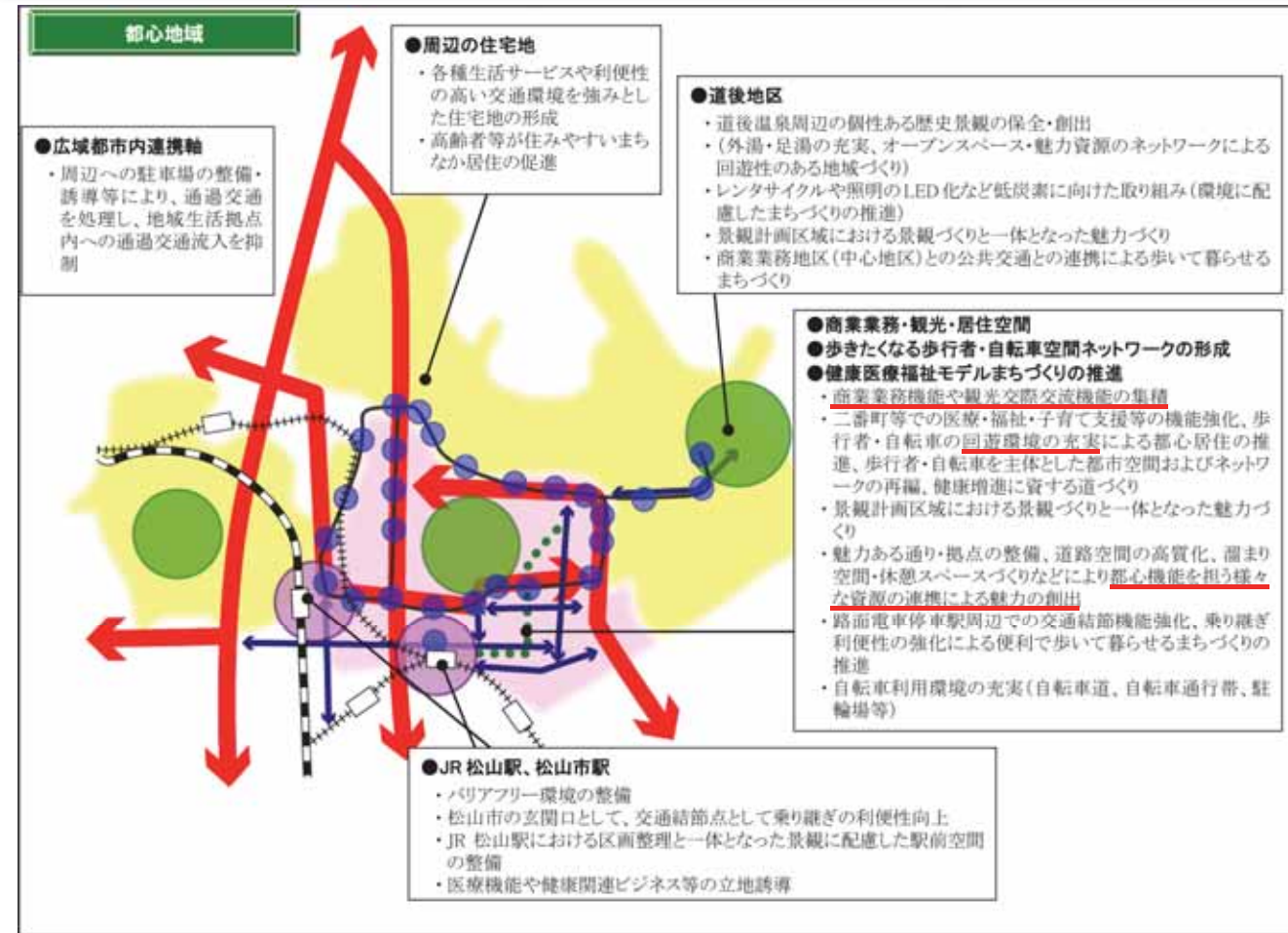
### （3）まちづくり計画の概要





(3)-1 松山市都市計画マスタープラン

- ・中心部都市再生の将来像として、「歩いて暮らせるまちづくり」を目指す
- ・「**高次の商業業務機能**」の集積強化や、「**都心居住**」の推進
- ・医療・福祉・子育て支援・**多世代交流**・健康増進機能や歩きたくなる**回遊環境の充実**
- ・**拠点開発等と連動した医療・健康関連ビジネスの集積化を誘導**し、高齢者等のまちなか居住の推進と賑わい形成を検討



(3)-2 松山創生人口100年ビジョン・先駆け戦略

- ・民間による中心市街地の再開発を支援し、現代の需要にあった**商業・オフィス床を創出**
- ・都市構造を見直し、「**コンパクトシティ・プラス・ネットワーク**」を目指す

基本目標⑤：暮らしと経済を守る(暮らしと経済まちづくり)

施策1：需要を創造する民間主体の経済まちづくりの推進

民間による中心市街地の再開発を支援し、現代の需要にあった商業床やオフィス床等を創出するとともに、企業誘致や空き店舗対策等を積極的に行い、3次産業の集積を推進します。あわせて、市民との協働による賑わいの創出など、中心市街地の活性化に資する環境整備に努めます。

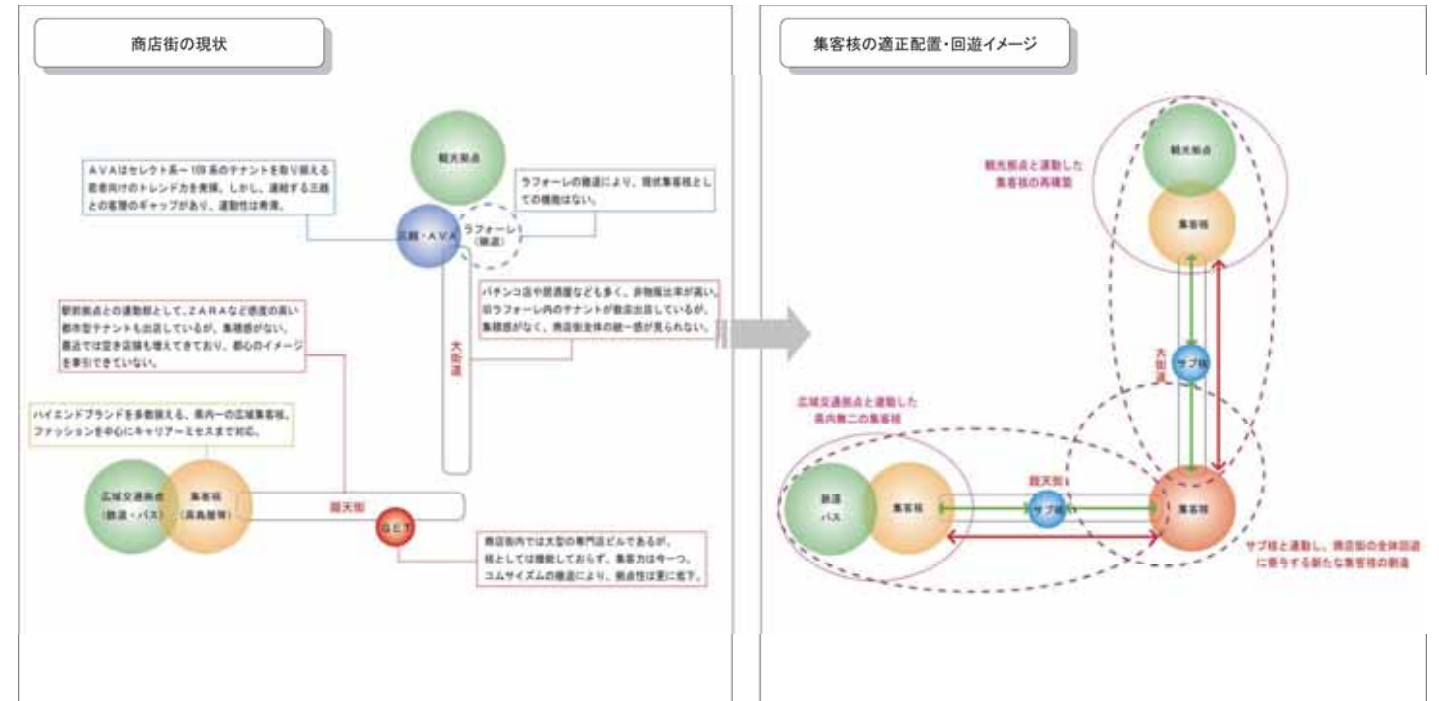
施策2：都市のコンパクト化と交通ネットワーク化形成

暮らしやすい都市づくり、地域づくりを進めていくために、医療・福祉施設、商業施設や住居等がまとまって立地し、高齢者をはじめする住民誰もが生活利便施設に公共交通にてアクセスできるなど、行政と民間が一体となって都市全体の構造を見直し、「**コンパクトシティ・プラス・ネットワーク**」を目指します。

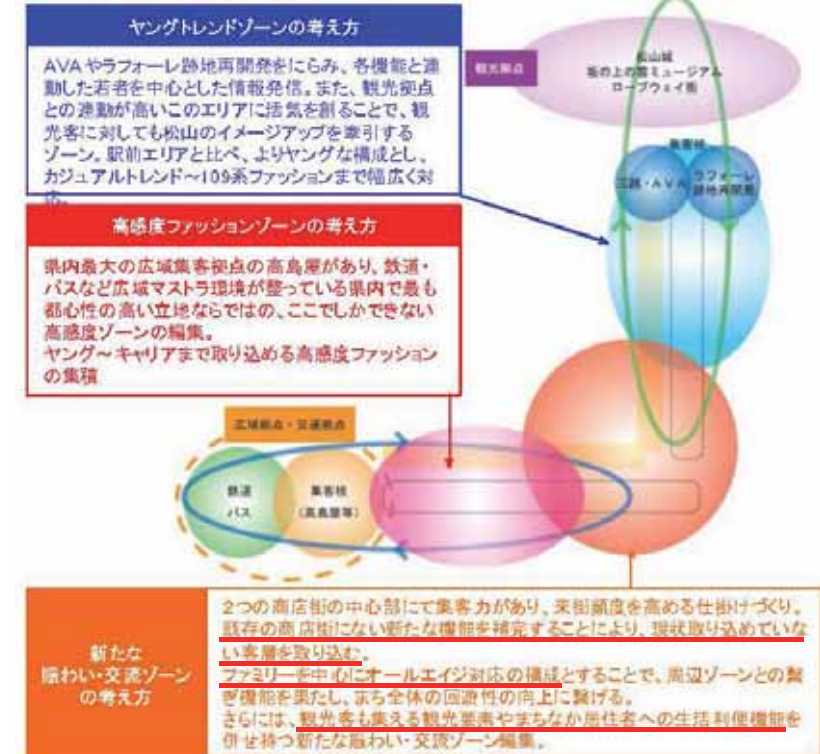
(3)-3 松山広域集客商業活性化戦略

- ・来街者が距離感を感じにくく買われる商業機能の再整備 (**L字地区での新たな集客核の創造**)
- ・来街頻度を高める仕掛けづくりとして、**既存の商店街にない新たな機能を補完し、ファミリーを中心にオールエイジ(多世代)対応**とすることで周辺商店街との繋がりを強化して回遊性を向上させる

商都“松山”の復権  
商店街×SC発想によるまちづくりの推進と来街者も含めた顧客志向の徹底

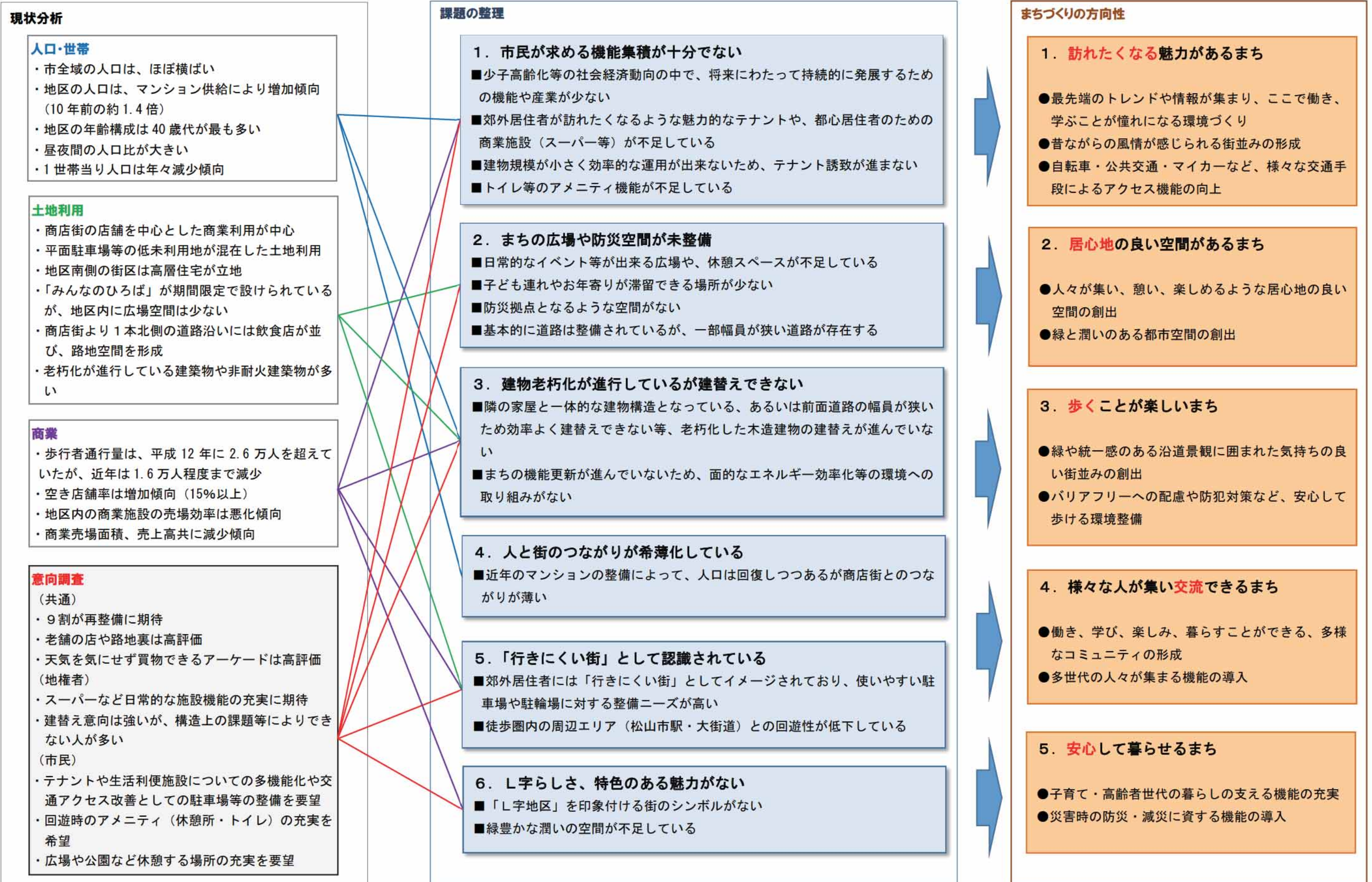


【MDゾーニングの考え方】





(4) 課題とまちづくりの方向性





## (5) 地区の将来ビジョン

### 目指す将来ビジョン

#### 暮らしと賑わいの共生…松山の新たな「交流核」

～人々の暮らしや経済の営みなど、絶えず人の気配や温かみを感じられる  
新たな都市空間の創出～



### 銀天街L字地区の目指す方向

銀天街L字地区は、現在、建物の老朽化や商店街の空き店舗増加など多くの課題を抱えていますが、歩いて暮らせる範囲に都市機能が集積し、業務・商業機能も充実しているほか、近年では居住人口も増加傾向にあるなど、都市のポテンシャルが高いエリアです。

松山の中心商店街エリアの交差点に位置する銀天街L字地区の再整備は、地域産業や人口を維持しつつ、松山中心部をはじめ、松山全体のまちや経済を活性化し、国際競争力や都市間競争力を高めるうえでも不可欠です。

この潜在的価値を改めて発見し、磨くとともに、現代社会に求められる「ゆとり」・「安らぎ」・「安心」などの機能を付加することで、松山の新たな「交流核」を創出します。

そしてこの場所では、そこに暮らす人々や、買い物や観光などで訪れる人が常に滞在し、絶えず人の気配や温かみを感じられ、高齢者から子供まで幅広い世代の人が安心して集まり、日常（ケ）の場と非日常（ハレ）の場が混在します。

銀天街L字地区は、「暮らしと賑わいの交流拠点」を目指します。

### 松山創生のモデルエリアとして

人口減少が進むなか、持続可能な地域社会を構築するためには、地域特性を生かした産業の振興や民間投資の促進を図り、都市のコンパクト化を進めるとともに、市民が地域に愛着をもって安全で健康な生活が営まれるよう、市民の暮らしと経済を守るためのまちづくりを推進する必要があります。

人々の暮らしと街の賑わいが共生し、松山の新たな「交流核」となる銀天街L字地区は、「松山創生人口100年ビジョン」に掲げる「暮らしと経済を守るまちづくり」のモデルになる場所です。



## (6) ライフスタイルイメージ

多世代・多業種・多目的の人が集まり、同じ空間をうまく共有しながら、それぞれの時間を楽しみ、交流を深められる場所となるためのライフスタイルイメージを例示。

### L字地区周辺に住む子育て世代の過ごし方（暮らし）

朝、お父さんは愛犬を連れて近くの広場にお散歩。  
近所の愛犬家達が集まり、お年寄りもベンチに座ってくつろいでいる。  
休日はゆっくり起きて、家族一緒に近くのパン屋さんに行くのが、みんなの楽しみ。



出典：<http://ameblo.jp/dogtrainer-eyes/entry-11714710965.html>

お母さんは子どもを保育所に預けて、街中のオフィスに徒歩で出勤。  
会社と自宅、保育園が歩いて行ける場所にあるのでとても安心と感している。



出典：<http://wooris.jp/archives/137876>

お昼時になれば、オフィスの仲間とランチタイム。  
今日は「鍋焼きうどん」。  
最近起業したプランナーさんとも一緒に、話が盛り上がる。  
今度一緒にミーティングを行うことになった。



出典：<http://foodrink.co.jp/api/contents/entrydata/get/3/6005/>

夕方には、仕事が終わって子どものお迎え、近所のママ友とおしゃべりしながら、アーケードのそばにある広場でキッズイベントをやっていたのでちょっと立ち寄り。  
子どもたちも何だか楽しそう。



出典：<http://otakushoren.com/news/event/post-1448.html>

ママ友と別れた後、お父さんと広場で待ち合わせ。  
今日はお総菜屋で夕食をテイクアウト。  
路地を通りながら歩いて3人で仲良く帰ろう。



出典：<http://mamari.jp/12576>

### L字地区に買い物に来た単身世帯の過ごし方（賑わい）

いつもは自転車で行動しているけど、今日は、荷物もあるので、車で銀天街へ。  
駐車場は広くて停めやすいので、免許取りたての私でも安心。



出典：<http://blog.goo.ne.jp/wyzbar/m/201011>

まずは、広場のベンチに座って、イベント情報などをスマホでチェック。  
Wi-fi環境も充実しているから便利。  
お昼時になったので、人気の洋食店でランチ。  
相変わらず賑わっている。



出典：<http://nipponomia.com/>

今日の目的は、新しく出来たセレクトショップのチェック。  
四国初出店らしい。



出典：<http://news.madamefigaro.jp/travel/post-608.html>

時間があるので、百貨店まで足を伸ばしてみよう。  
確か、3時から大街道でミニライブをやっているはず。

次は、路地裏を散策。  
ここには、隠れ家的なカフェやこだわりの専門店が並び、個性的な顔が連なっていて、ここにしかない物がたくさんある。  
商店街から一歩入っただけなのに、昔の風景が残っていて楽しい。



出典：<http://myhome.nifty.com/buy/mizuho/nagasakispot/3/>

今日は、この後友達と「家飲み」だから、ついでにワインと食材を買って帰ろう。

